

山梨県春日居の桃をテーマに 地域循環SDGs

山梨県春日居の桃を好きになろうプロジェクト2022

共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科 デザインコース
グラフィックデザイン演習Ⅲ

担当教員：田中裕子、水川史生 担当助手：八木こはる デザインコース4年生 履修学生27名

●プロジェクトについて

4年次配当のグラフィックデザイン分野総仕上げの「グラフィックデザイン演習Ⅲ」では、株式会社東和エンジニアリング（以下、「東和E」と称する）およびグループ会社である東和AGワークス株式会社（以下、「東和AG」と称する）と協働し、農業・地域活性化を目指した取組みとして、桃の栽培に最適な気候・土壌に恵まれた土地である山梨県笛吹市春日居地区をフィールドに、課題解決型授業を展開した。履修生は6チームに分かれ3つの課題に取り組んだ（1チーム4～5名、1課題につき各2チーム）。

<学生が取り組んだ3つの課題>

- ①誰もが参加したくなる楽しい農業にしたい（→参画意識の醸成・サステナブル）
- ②桃の魅力をもっと広めたい（→地域/企業連携・フードロスへの取組み）
- ③繋がりを大切にしたい（→地方創生・雇用創出）

最終発表では、農業が抱える人手・後継者不足、食品ロス問題、加工品を含めた農産物の新しい販売方法といった社会全体の課題に対する解決提案と解決のためのコミュニティづくり、携帯アプリなどの技術の活用など、各チームごとに特色のある提案を行った。

●プロセス

現地調査 2022年4月9日（土）山梨県春日居エリアへ現地調査へ行き、農園の様子など「桃」について学んだ



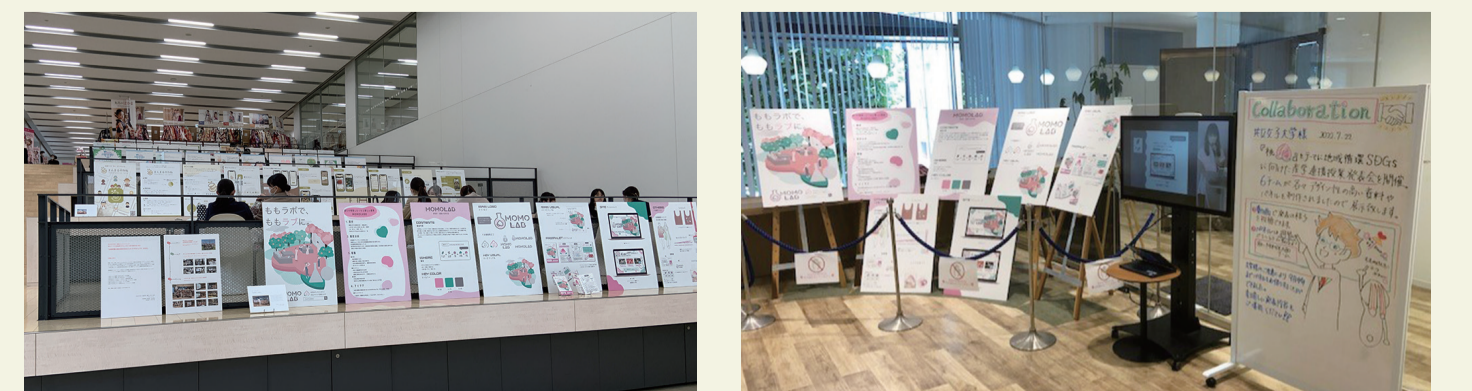
授業 チームの意見交換、教員の指導、東和Eからのフィードバックを通じてデザインをブラッシュアップ



最終発表 2022年7月22日（金）9:00～12:40 東和E本社 TOWAROW PARKにて



展示 左：2022年10月24日（月）～31日（月）共立女子大学2号館 右：東和エンジニアリング本社にて酒替わりでパネルの展示



①誰もが参加したくなる楽しい農業にしたい
MOMO LABO



②桃の魅力をもっと広めたい
momop



③繋がりを大切にしたい
mogro



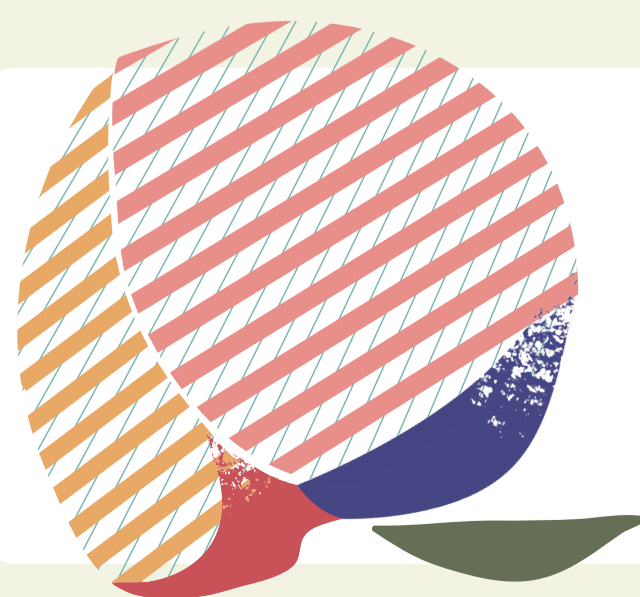
①誰もが参加したくなる楽しい農業にしたい
まんまるのたね



②桃の魅力をもっと広めたい
ポーモーナの森



③繋がりを大切にしたい
MOBBY FESTA



学生は、それぞれ役割を担いチームに貢献しながら作品制作を行い、集団におけるコミュニケーションそして「共立リーダーシップ」を習得し、実践的なデザイン現場さながらの経験が出来た。